

平成19年度産業保健調査研究報告書

兵庫県内事業場におけるメンタルヘルスケアの構築と活動実態に関する調査研究

兵庫産業保健推進センター

基幹相談員 野島 紀子

兵庫産業保健推進センター

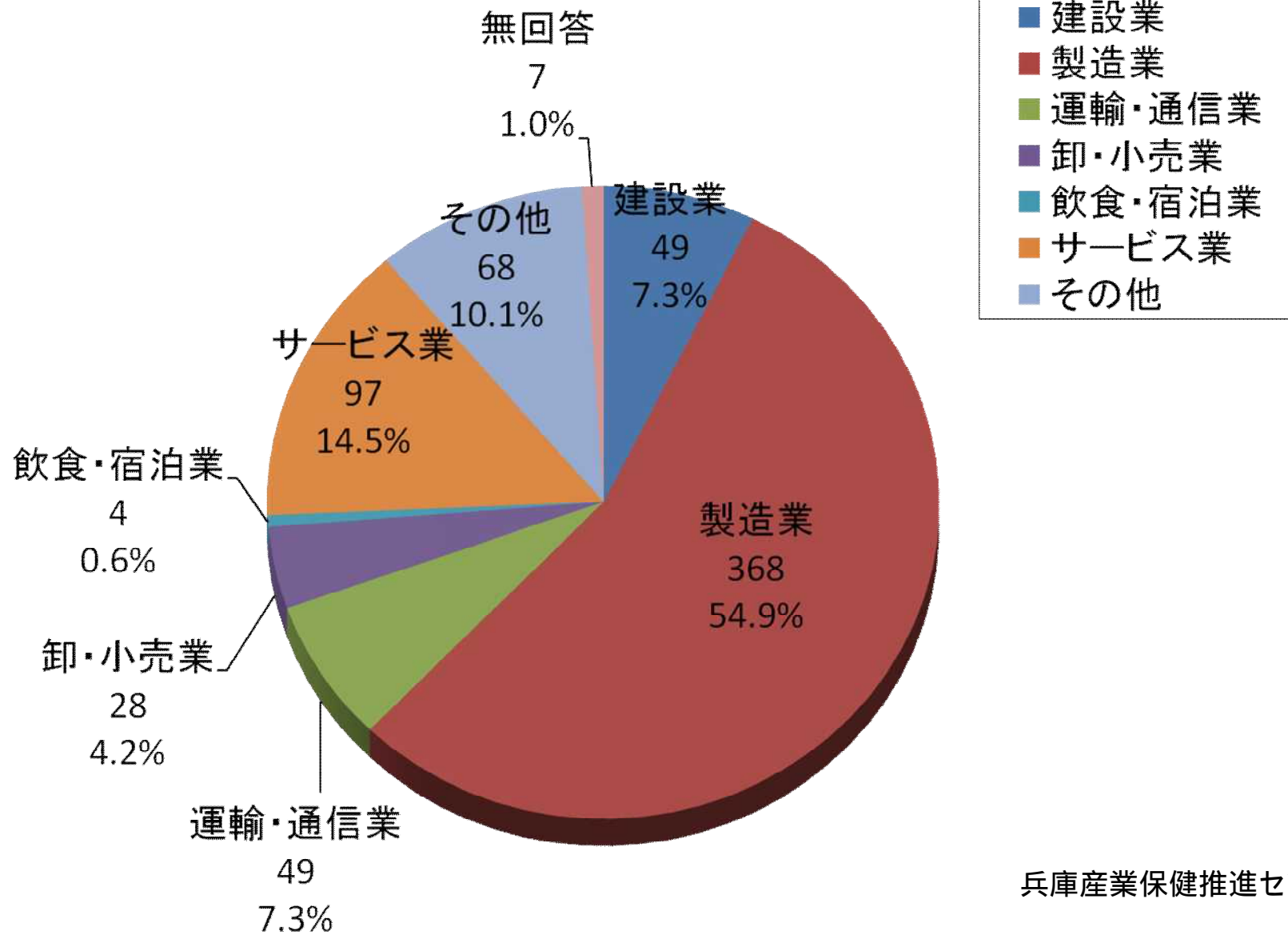
調査目的

平成12年8月に労働省（現厚生労働省）から「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」が発表されてから7年が経過しました。

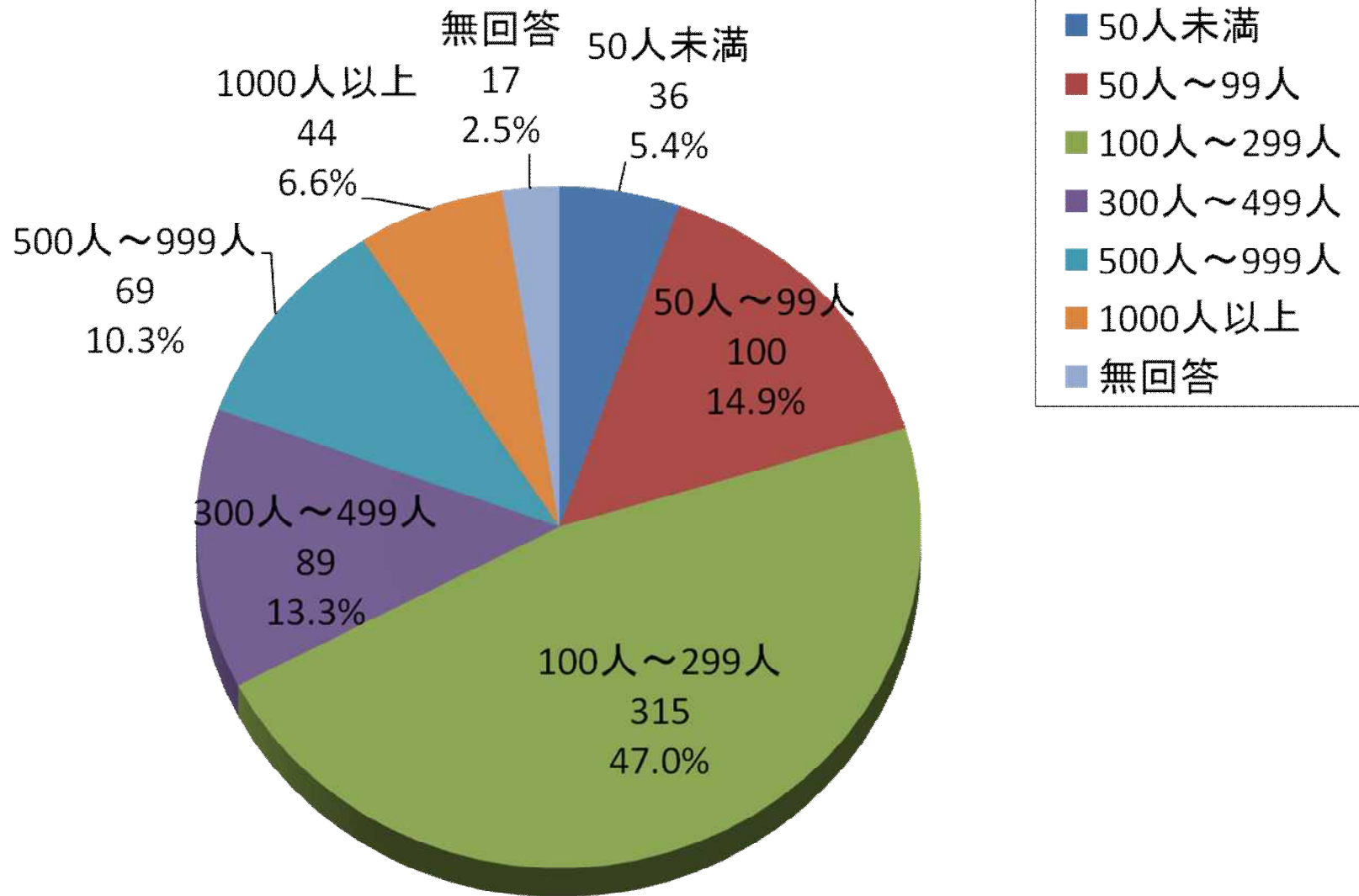
そして、平成18年4月には「労働者の心の健康保持増進のための指針」が示されました。

この節目のときに、兵庫産業保健推進センターとして、兵庫県内の事業場におけるメンタルヘルスケアの実態を把握し、今後の支援活動に役立てることを目的にしています。

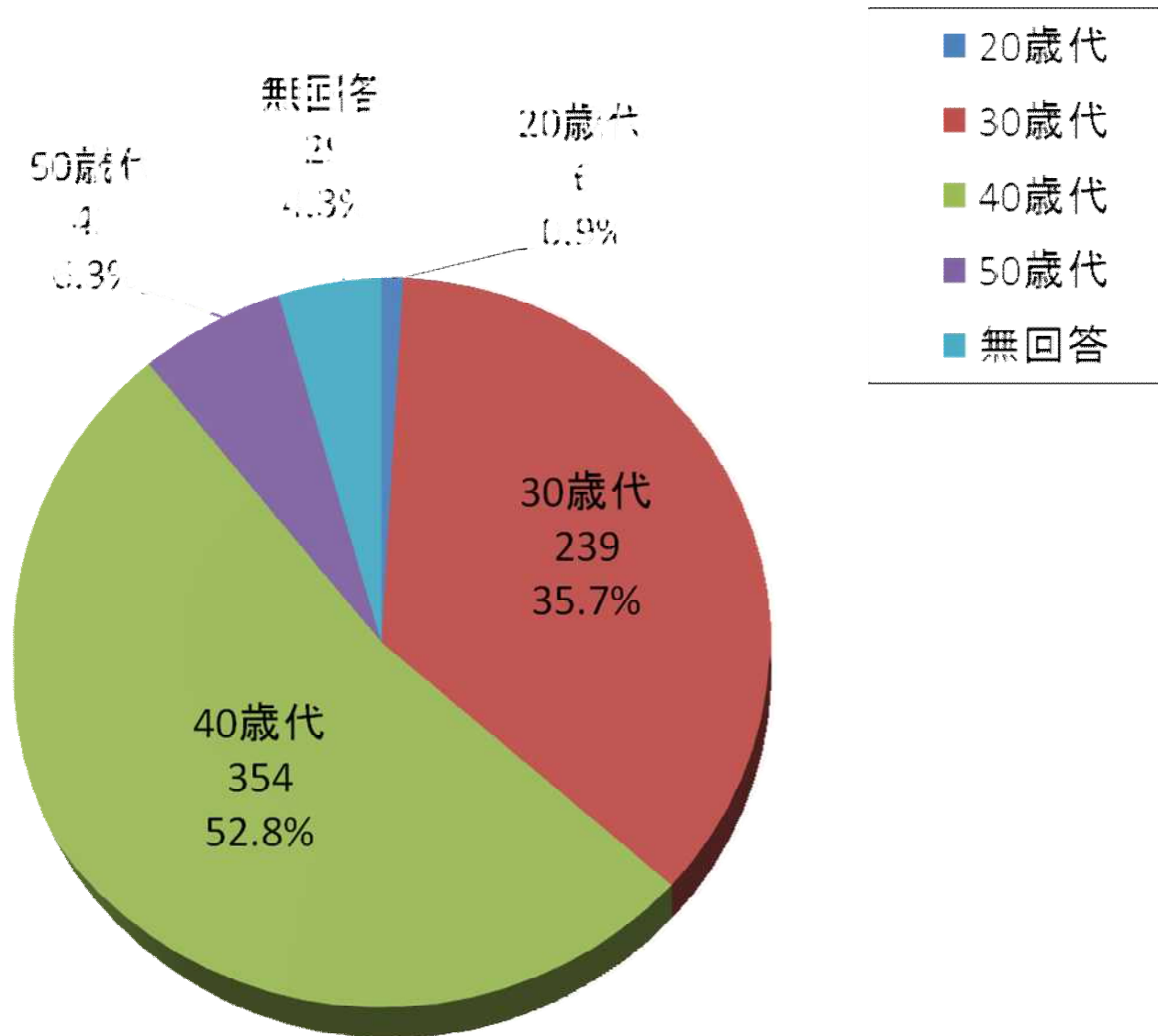
-1. 業種別事業場数



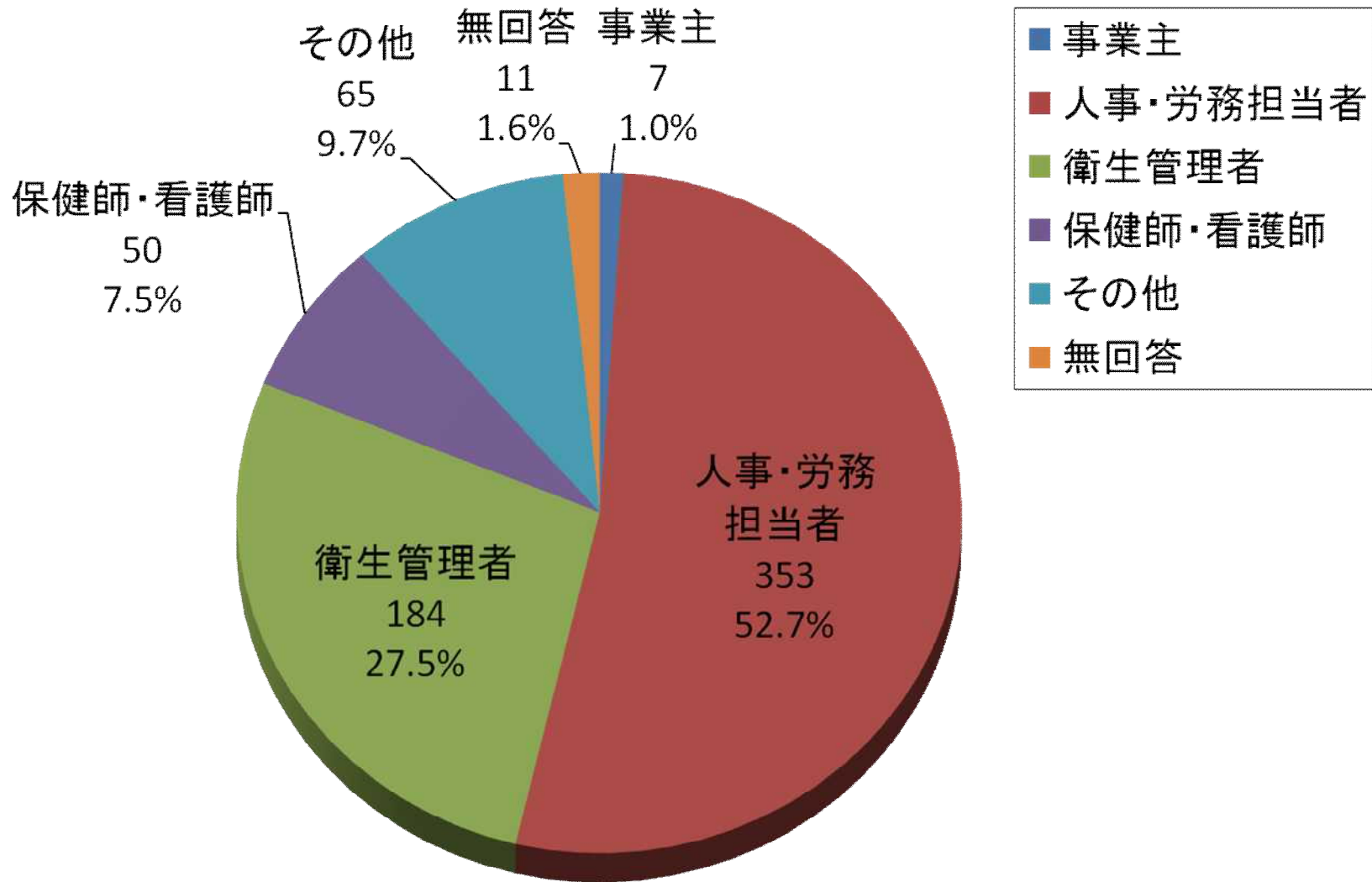
-2. 規模別事業場数



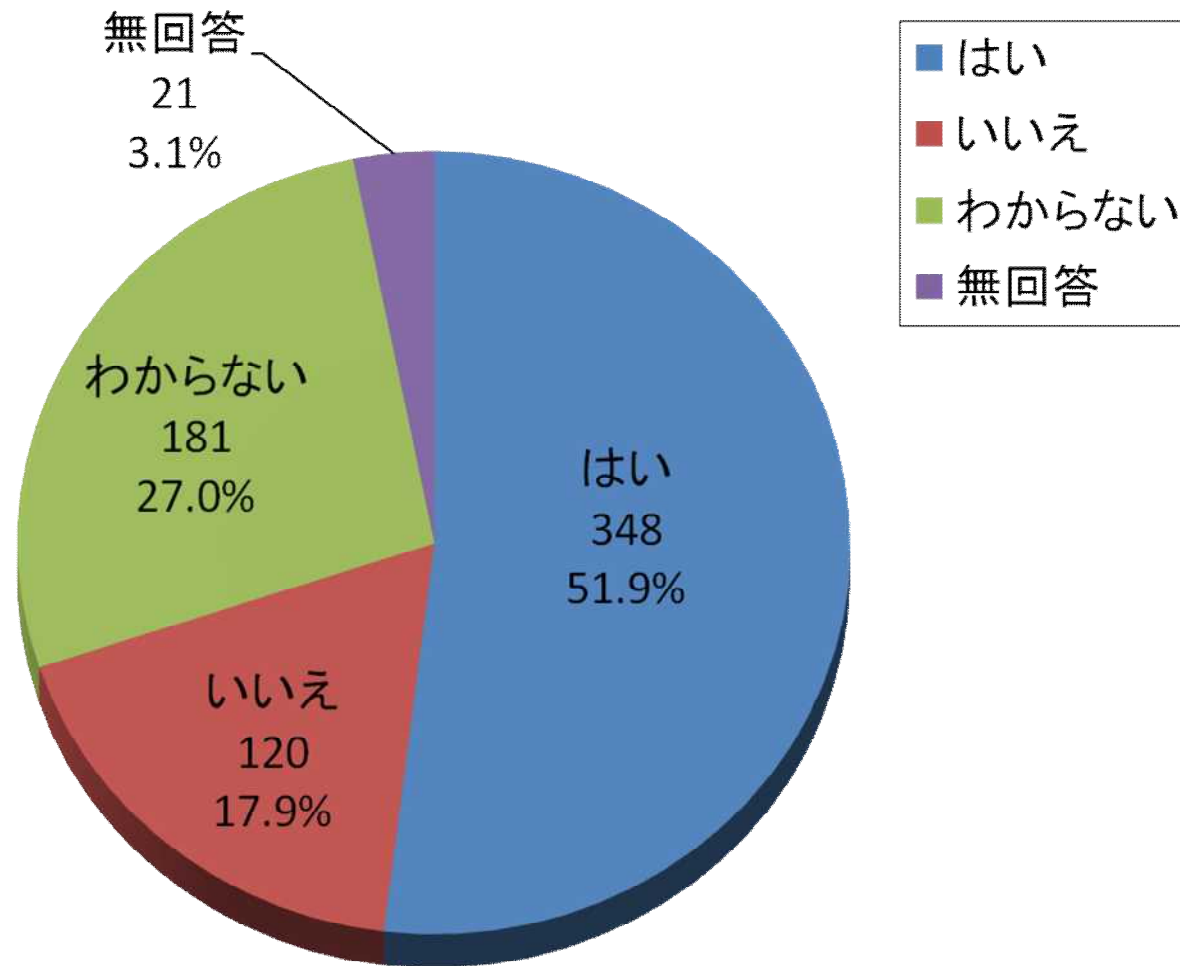
-3. 従業員の平均年齢



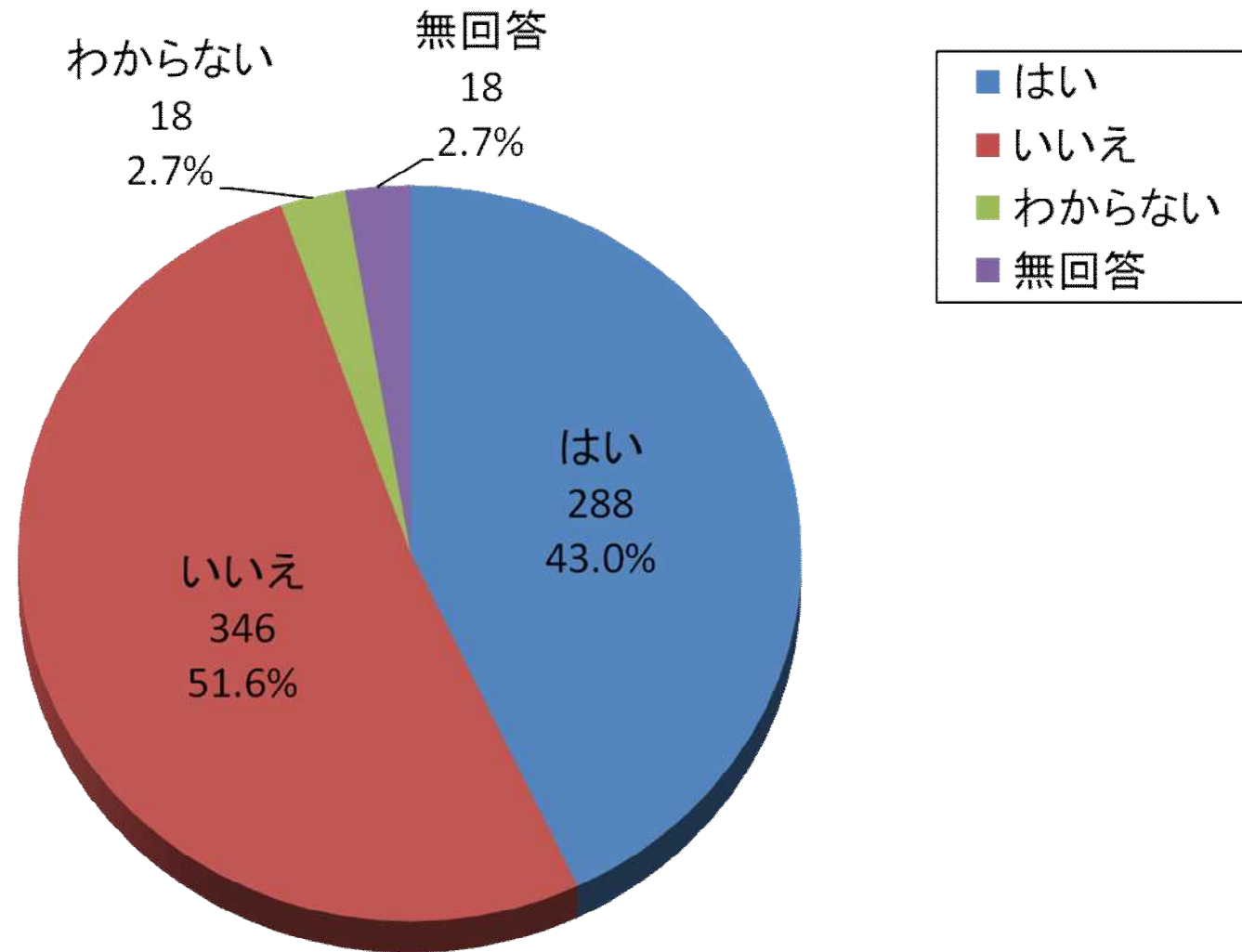
-4. 回答者の立場



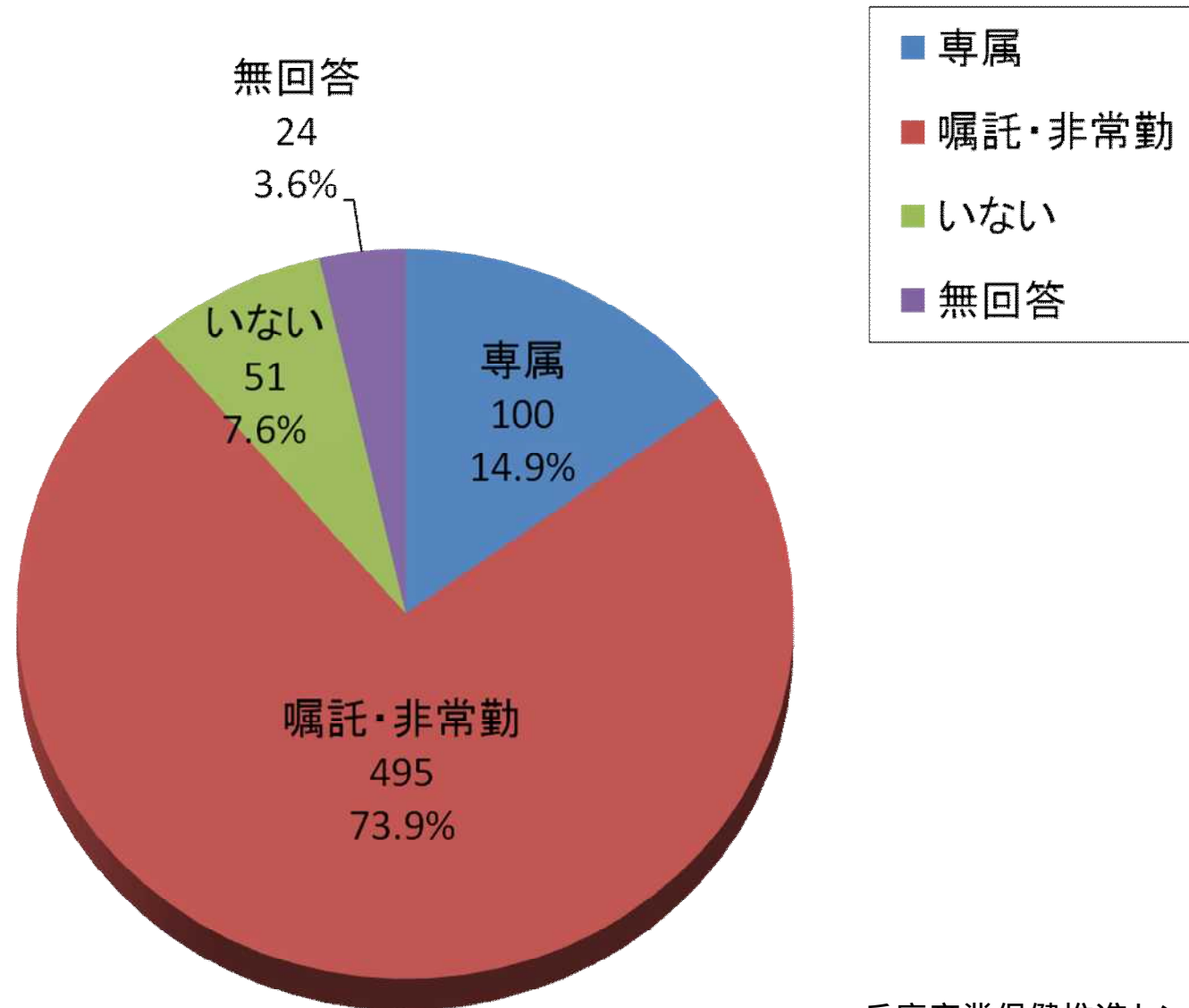
-1 . 従業員のメンタルヘルス対策に関して事業主が十分理解されていると思われますか



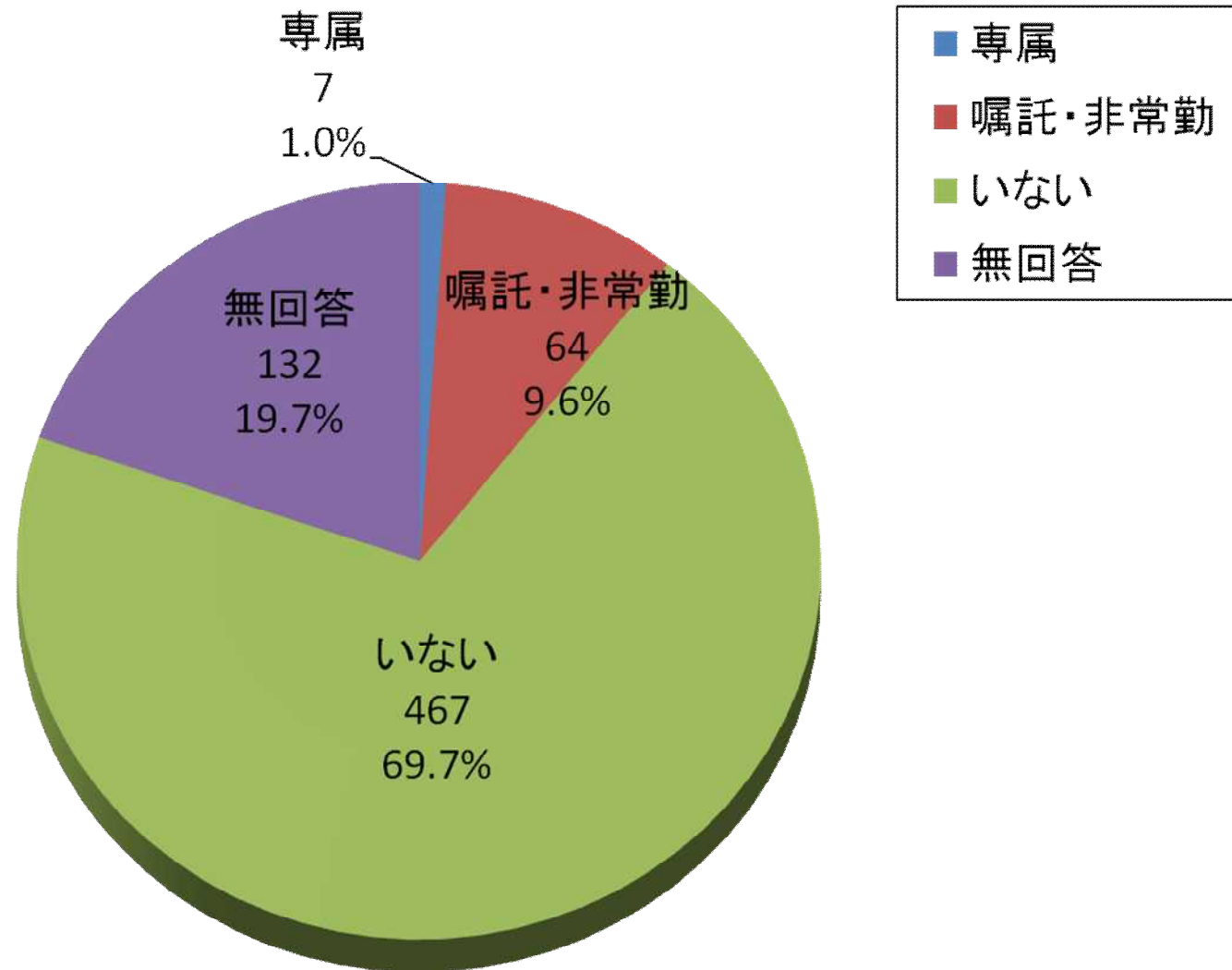
-2 . 社内に心の健康づくりを推進する部署・機能はありますか



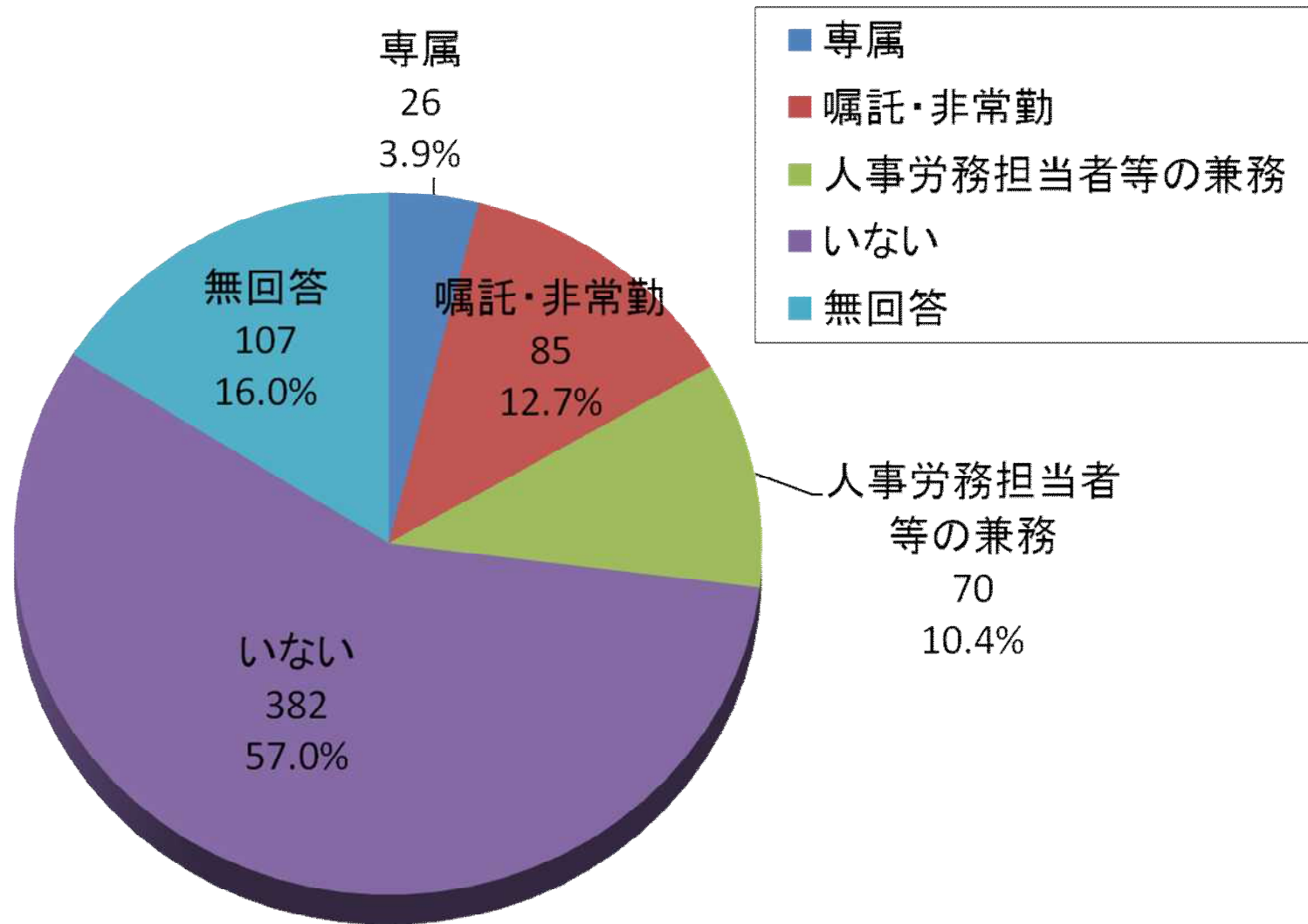
-3-1 . 貴事業場に配置されている人(産業医)



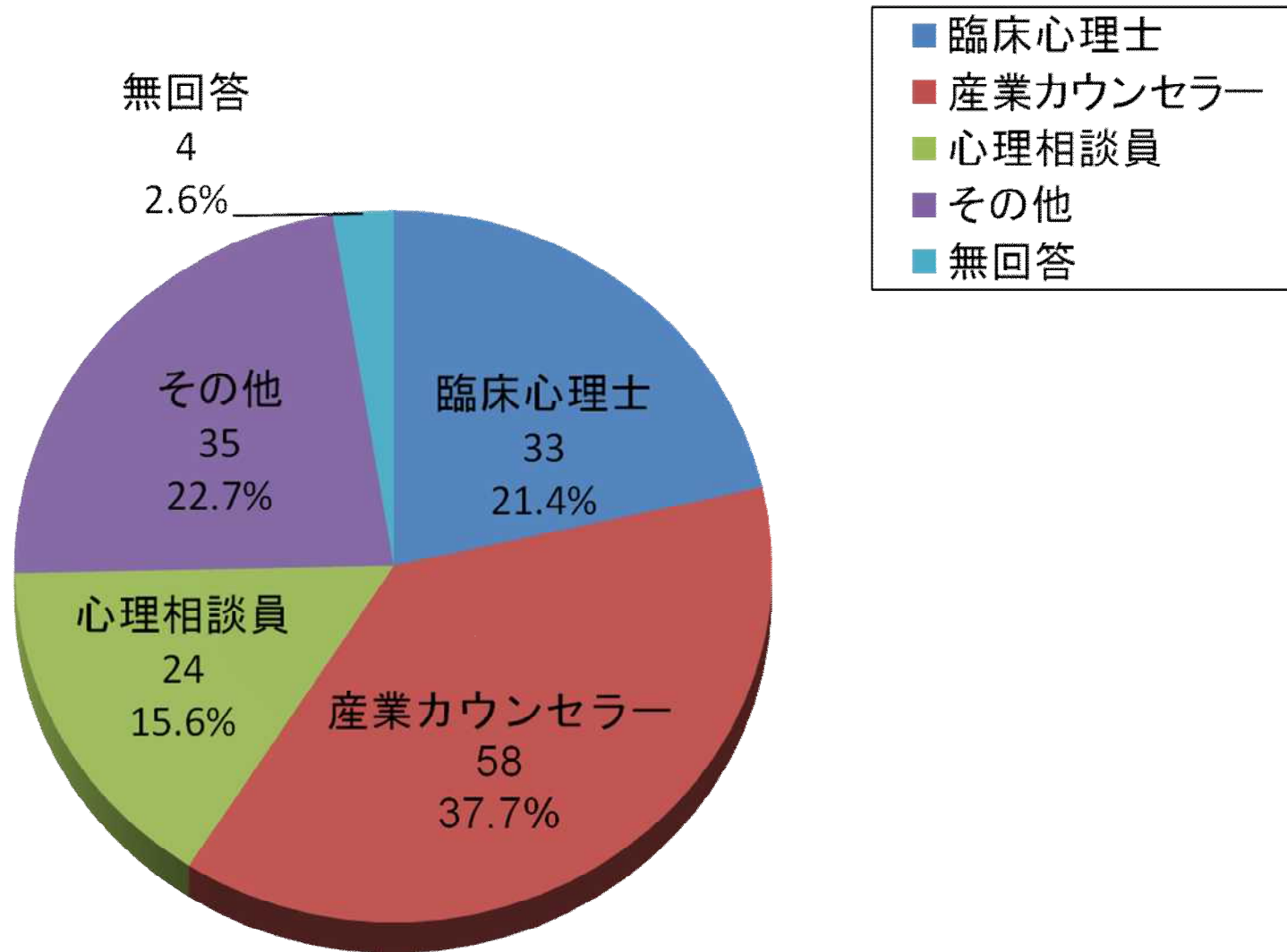
-3-2 . 貴事業場に配置されている人(精神科医)



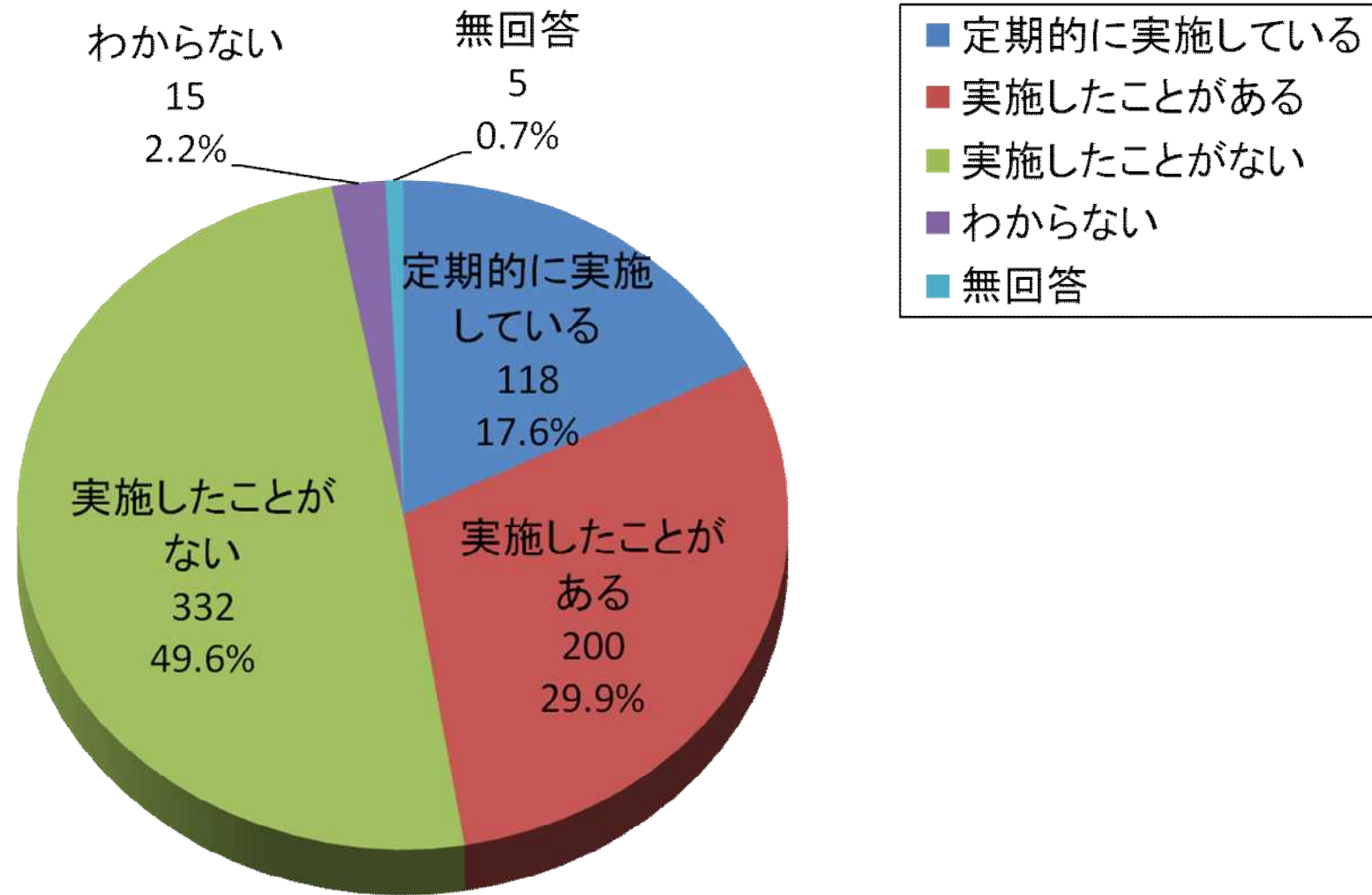
-3-3. 貴事業場に配置されている人(カウンセラー)



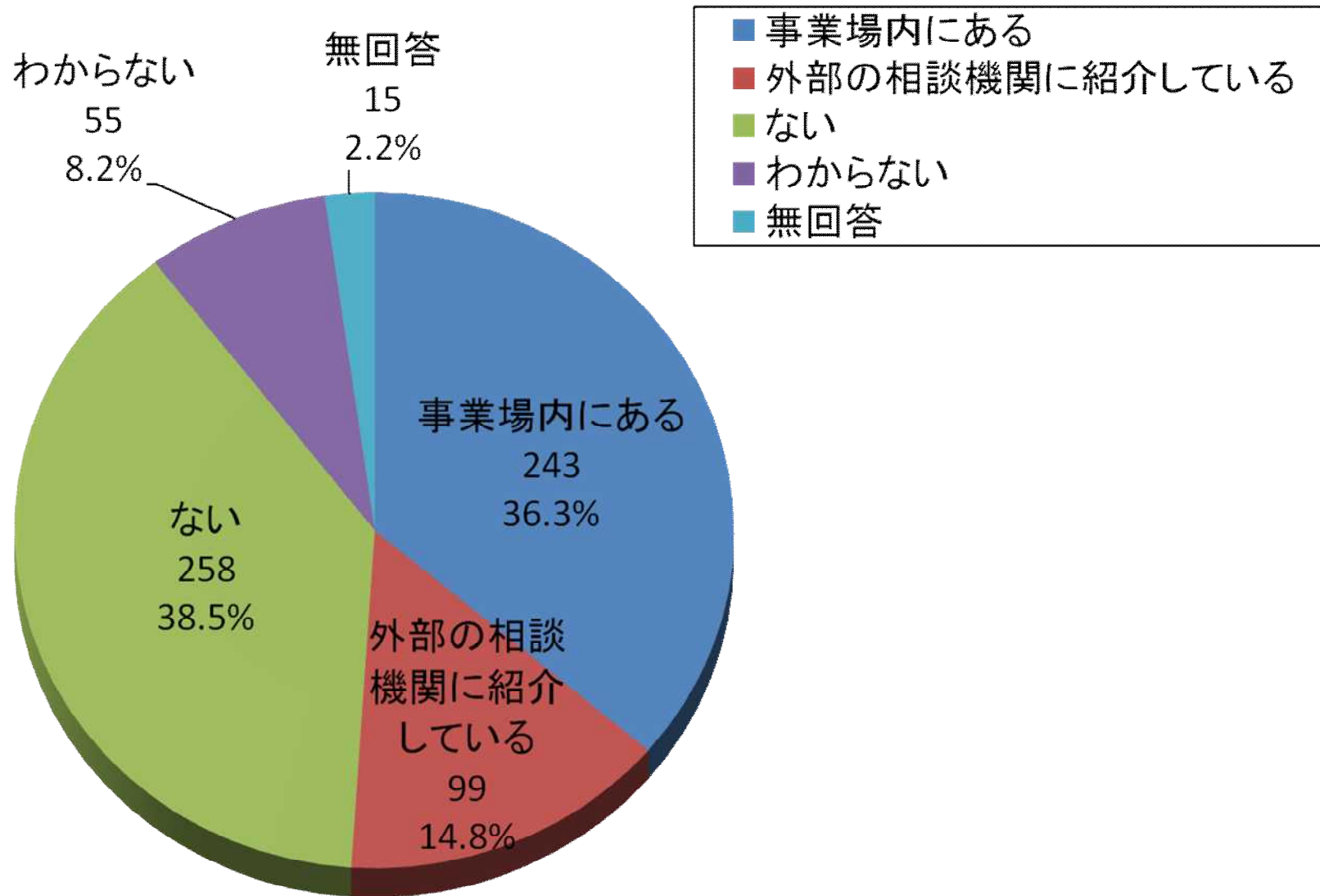
-3 -4 . 貴事業場に配置されているカウンセラーの資格



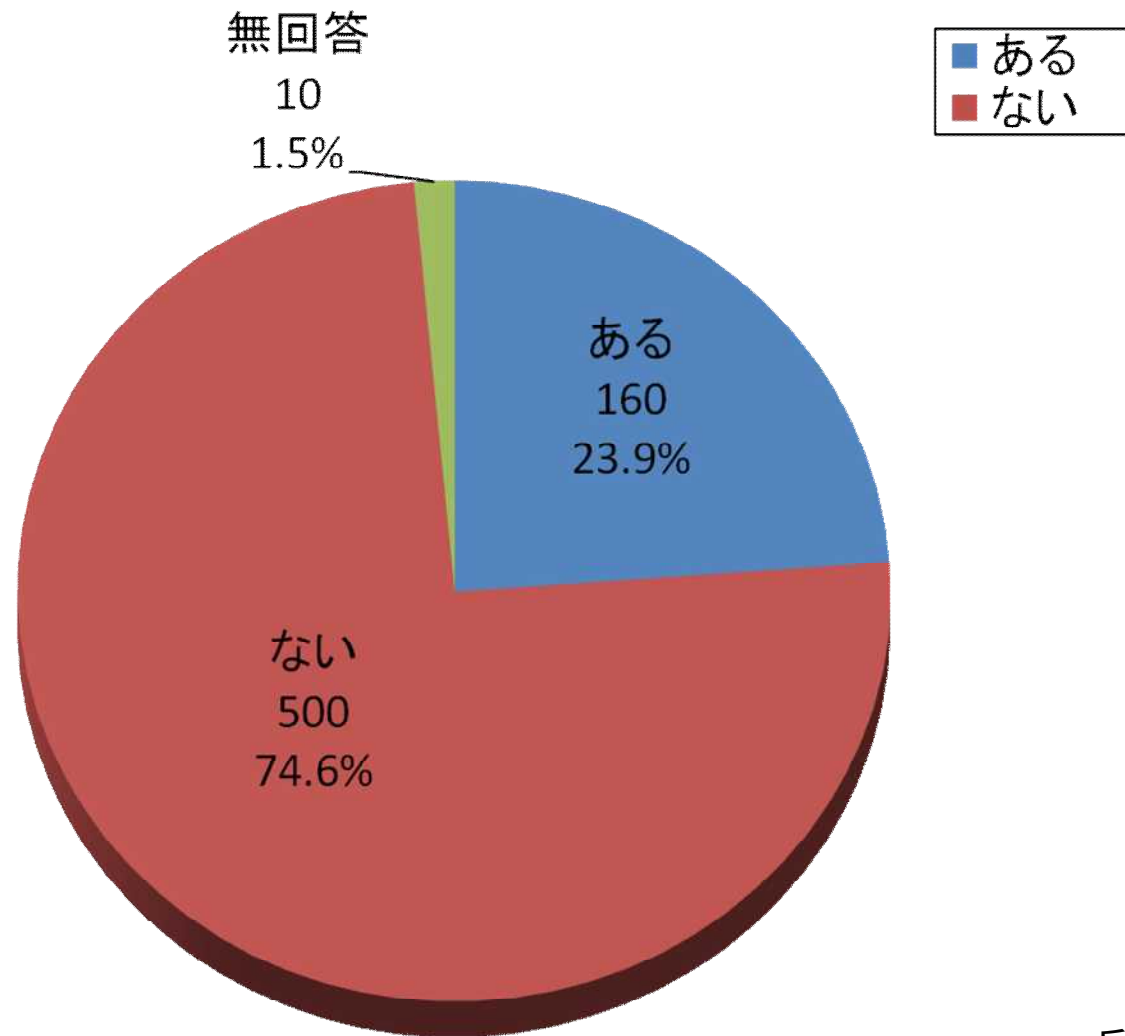
-4. 従業員に、心の健康づくりに関する教育研修を実施していますか



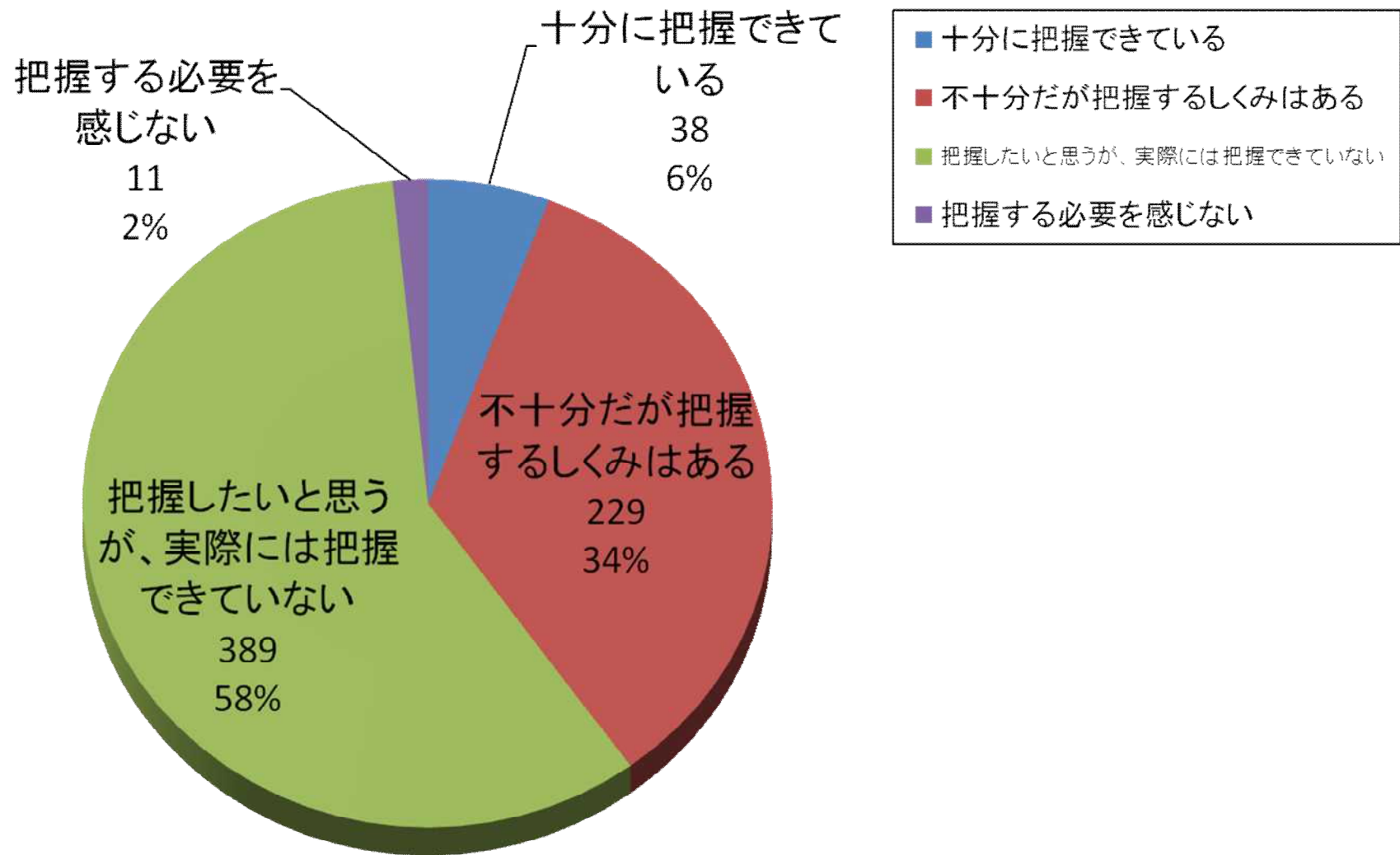
-5. 従業員が悩みを相談できる場がありますか



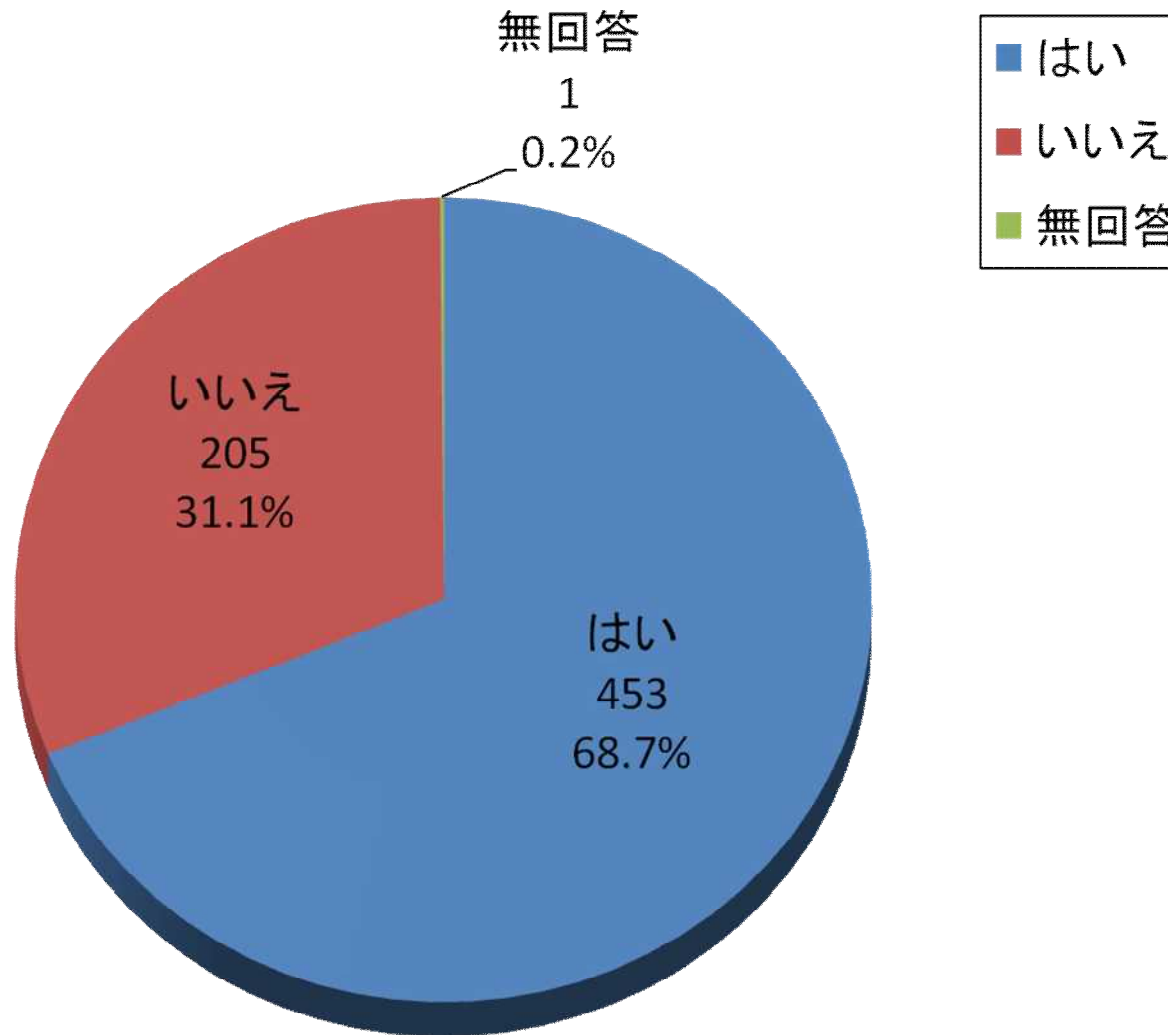
-6. 事業場内に、従業員のストレス解消を配慮した設備や環境がありますか



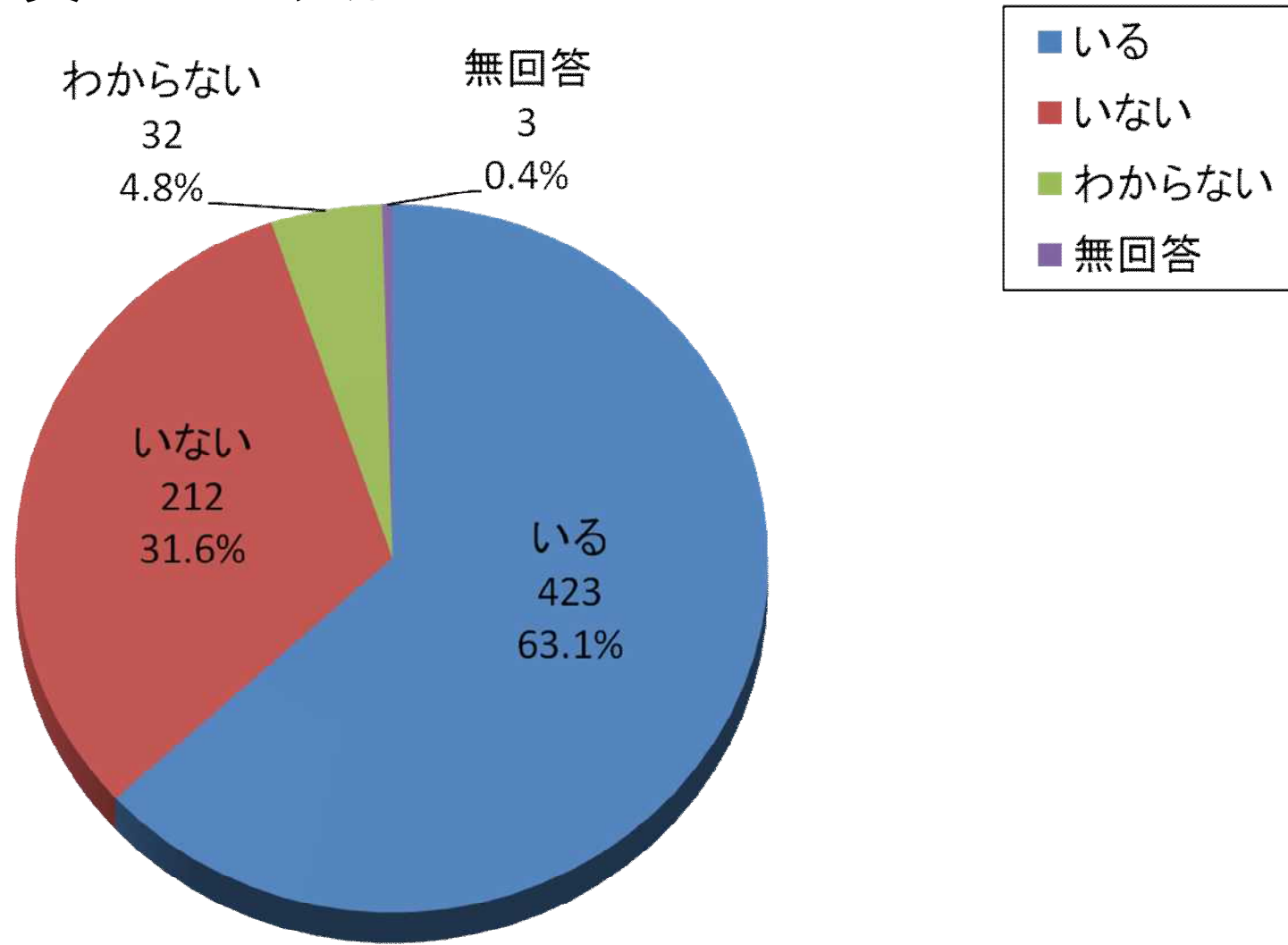
-7. 従業員のメンタルヘルスの把握程度はどうか



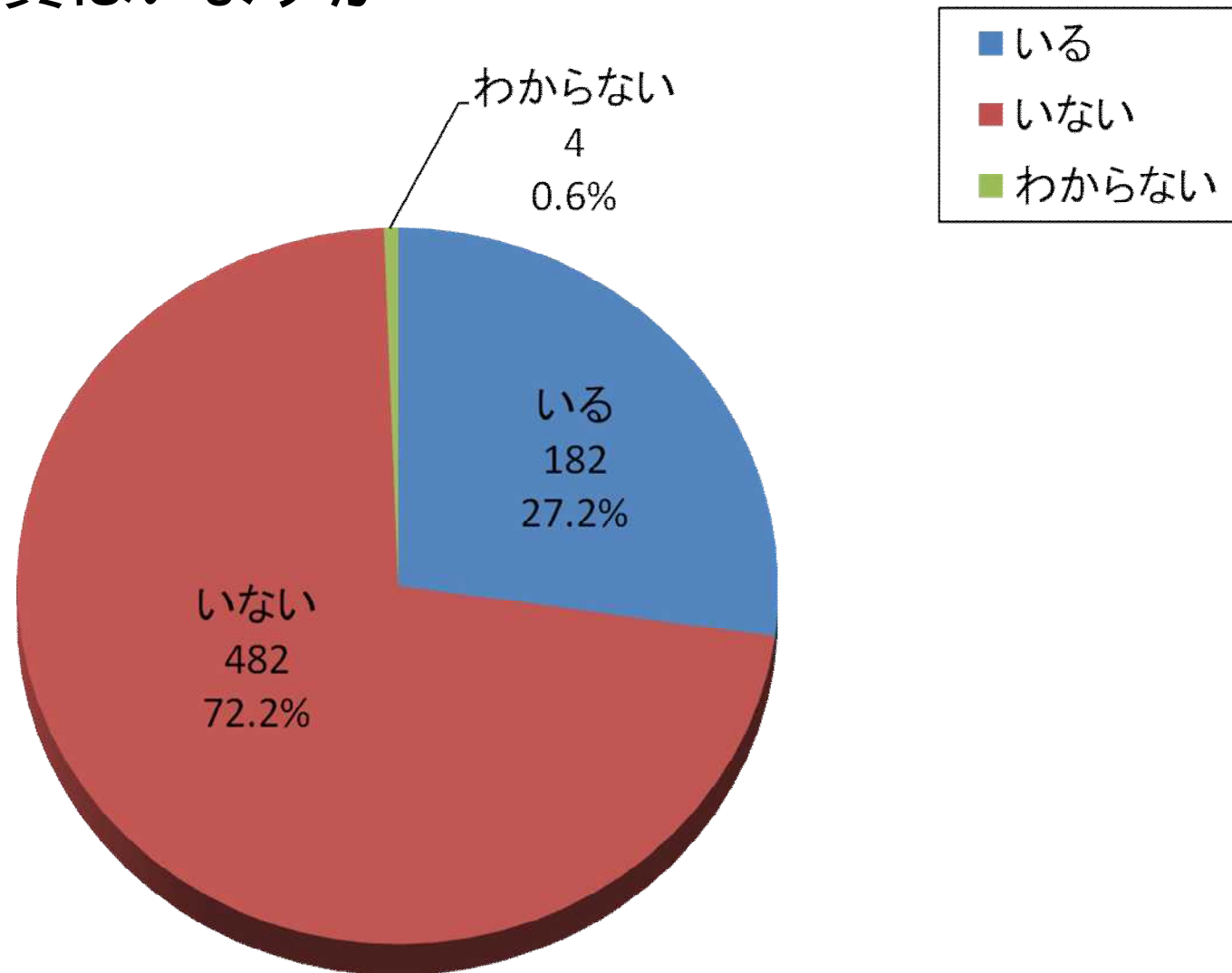
-8. 厚生労働省は平成18年4月に「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を公表しましたが、ご存じですか



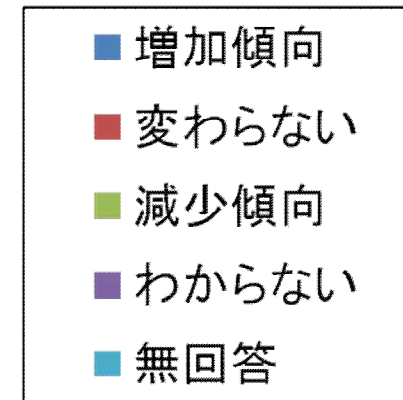
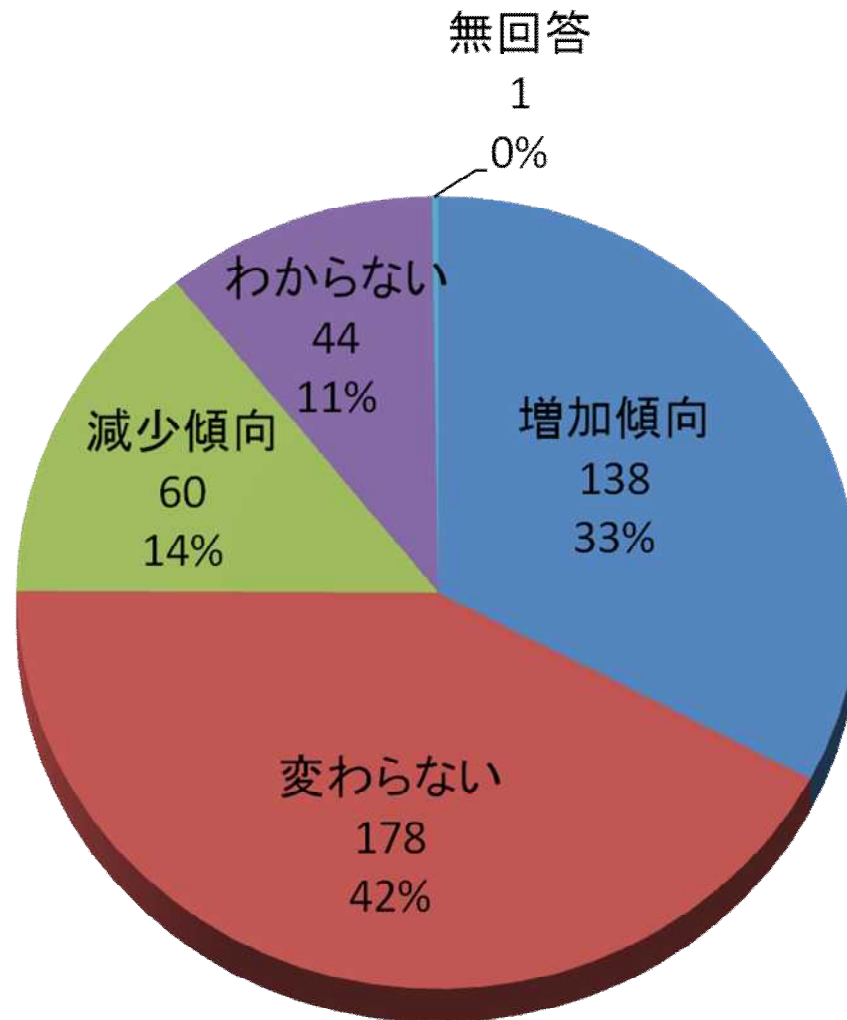
-1. 貴事業場で、うつ病等の心の病で休業した従業員はいますか



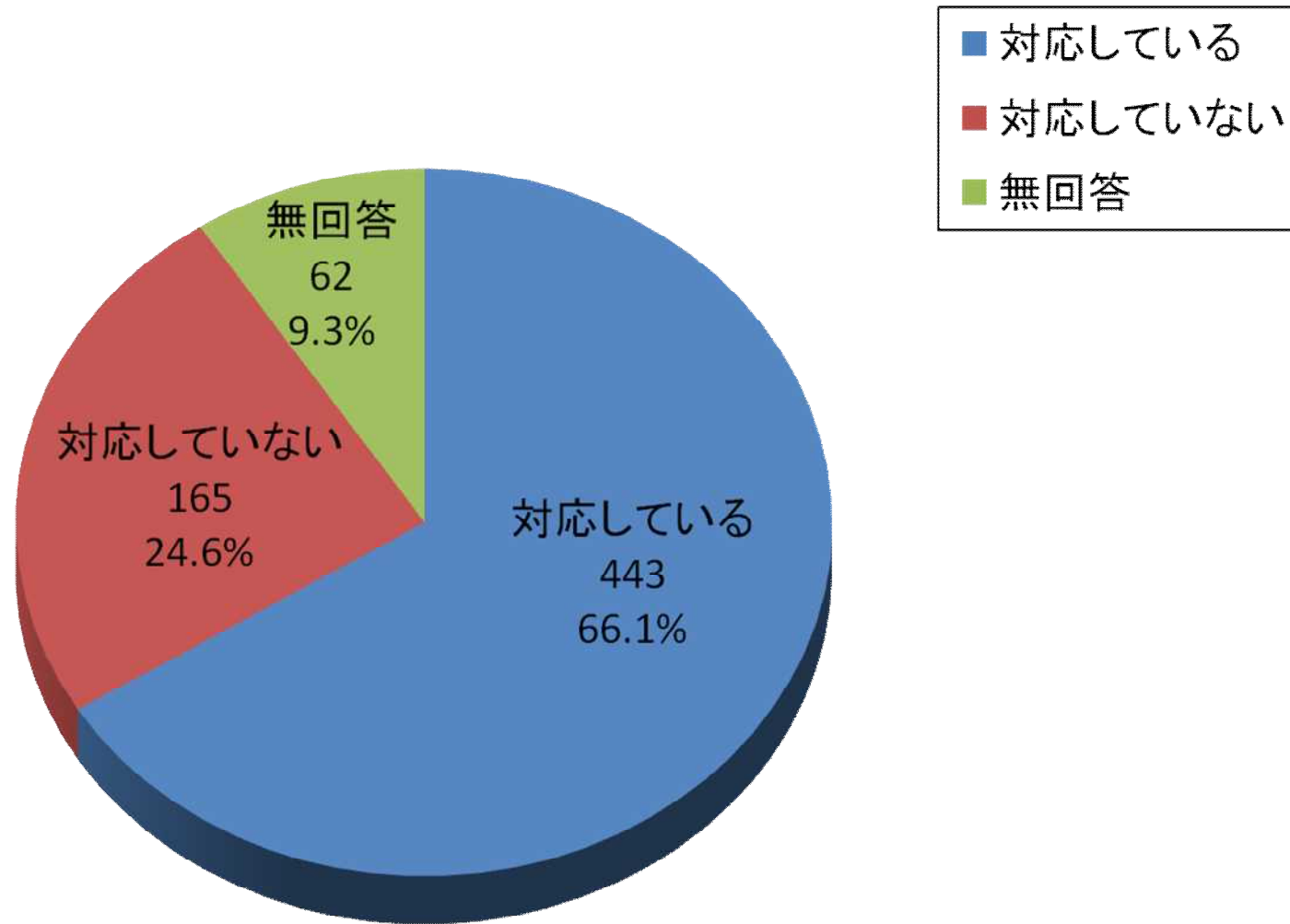
-2. 現在心の病のために1ヶ月以上休業している従業員はいますか



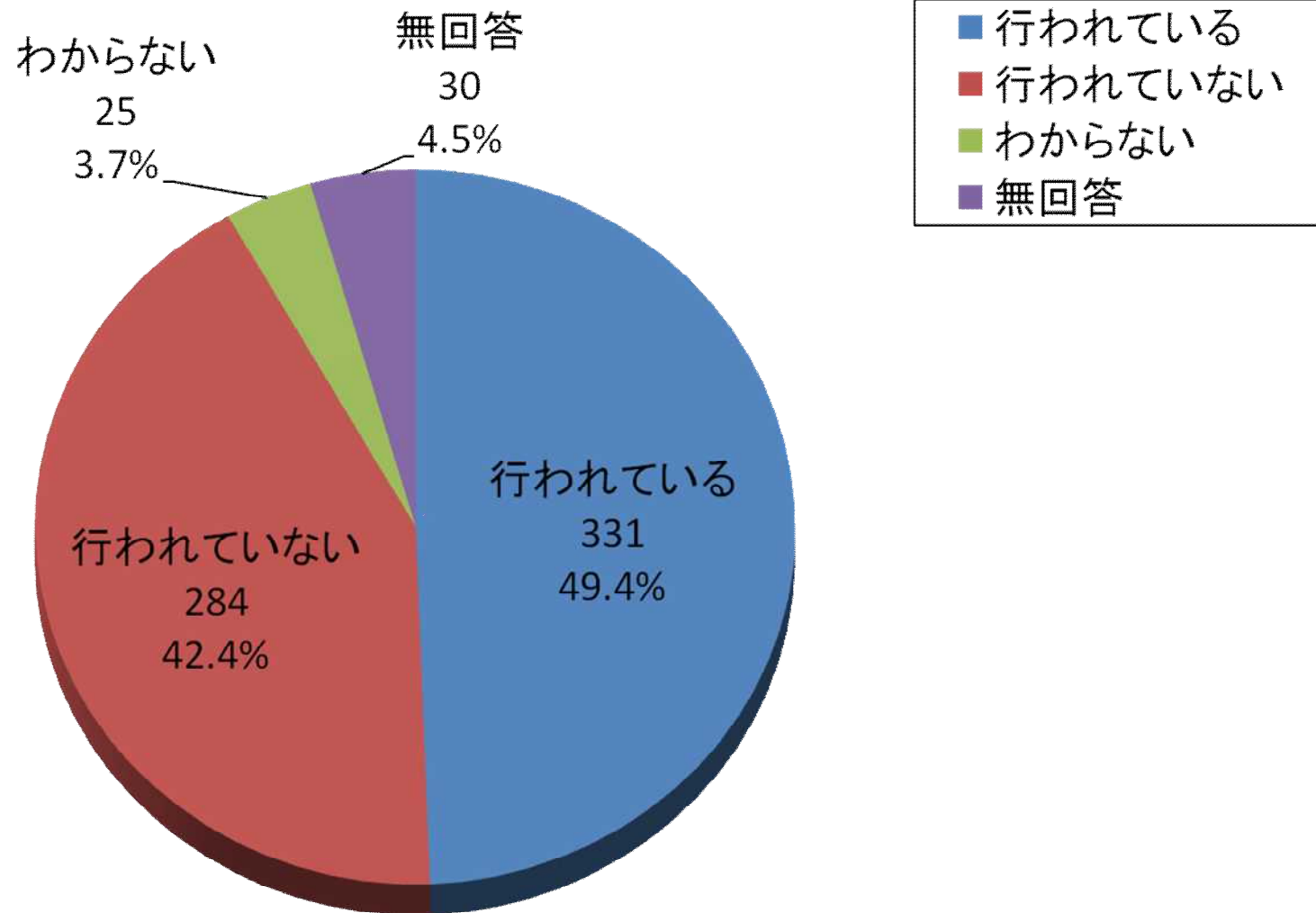
-3. その人数は増えていますか



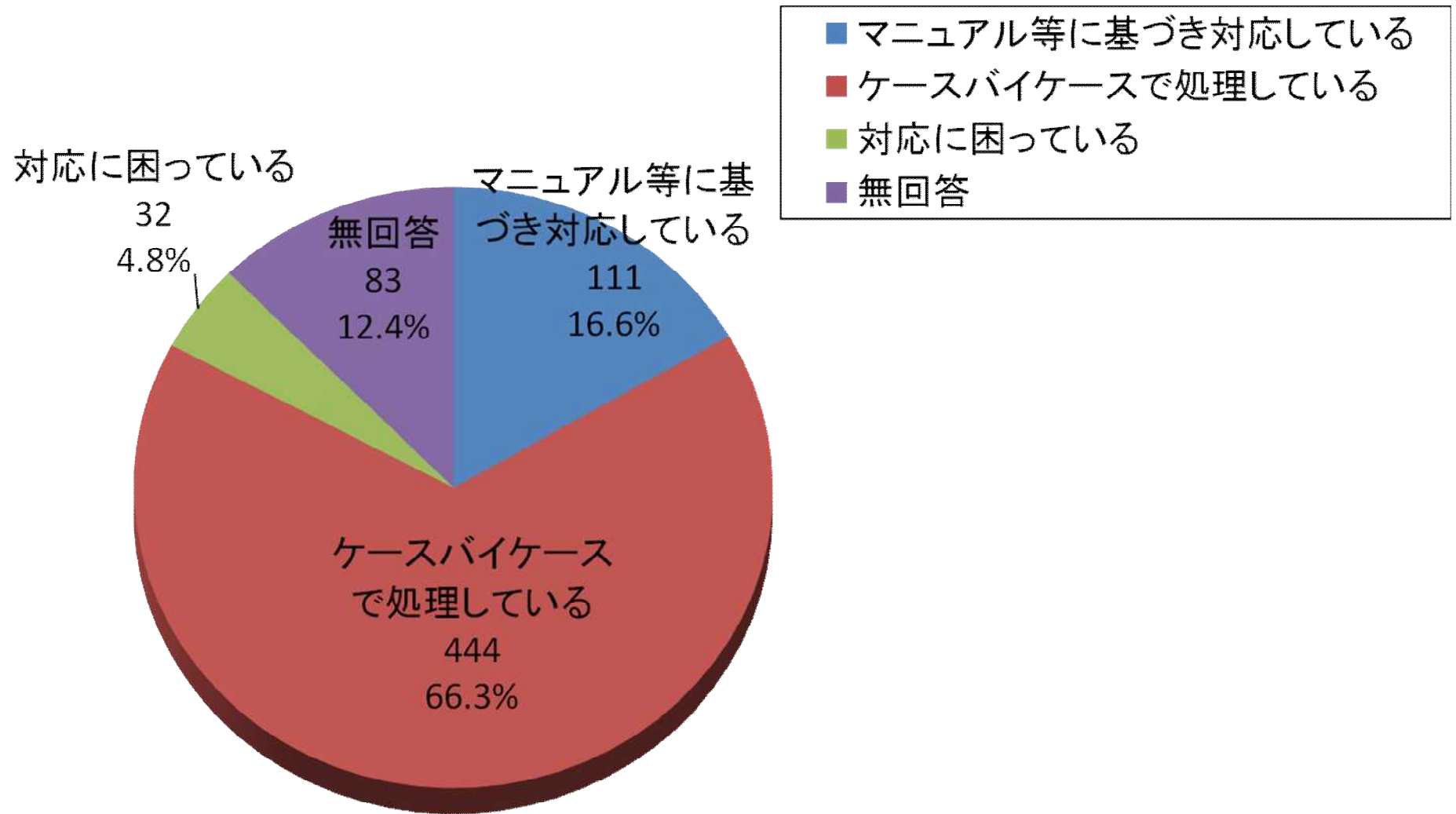
-4. 心の病気を持つ従業員にたいして、事業場として対応をしていますか



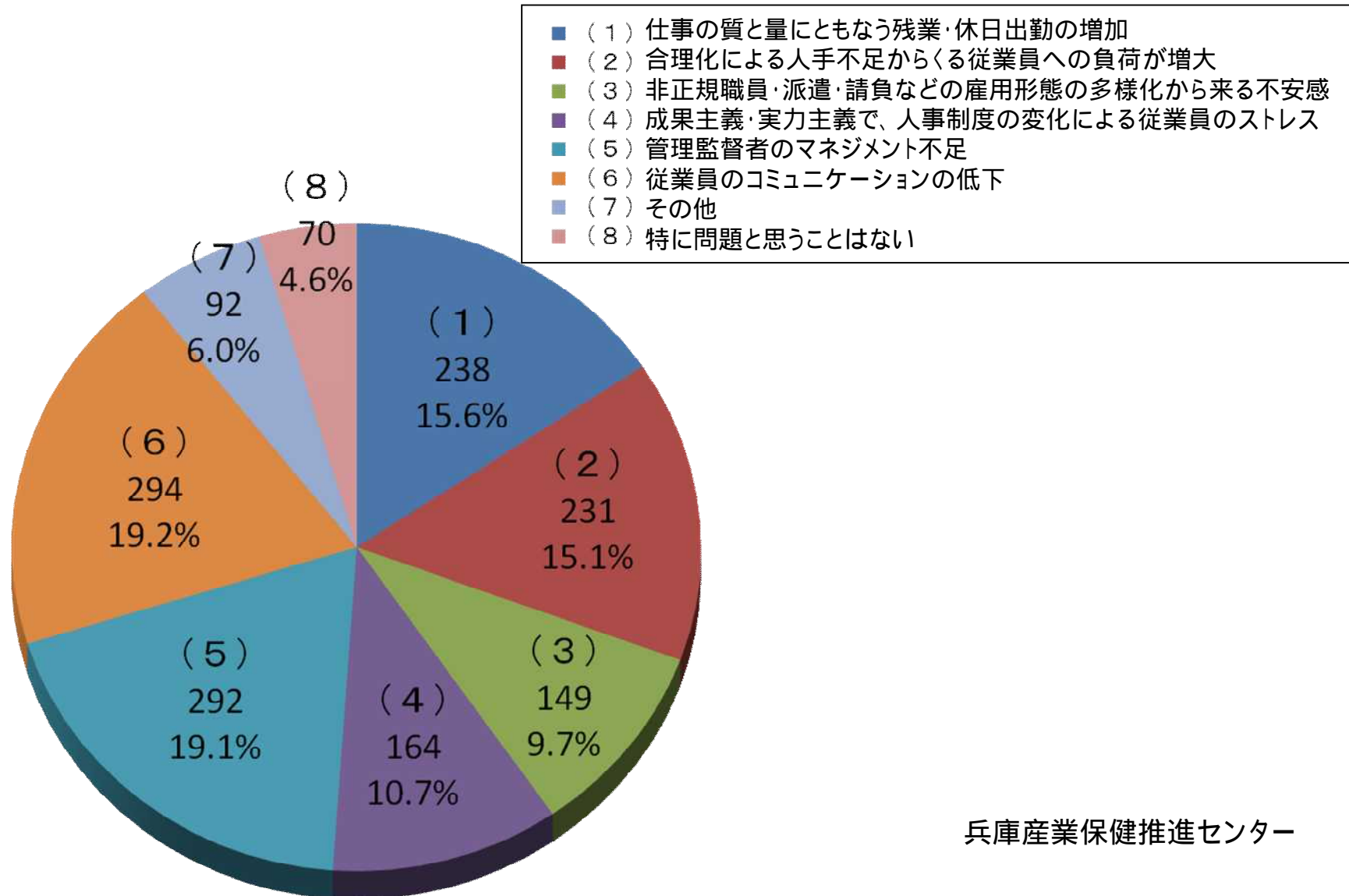
-5. 長時間労働による健康障害防止のための医師による面接指導は行われていますか



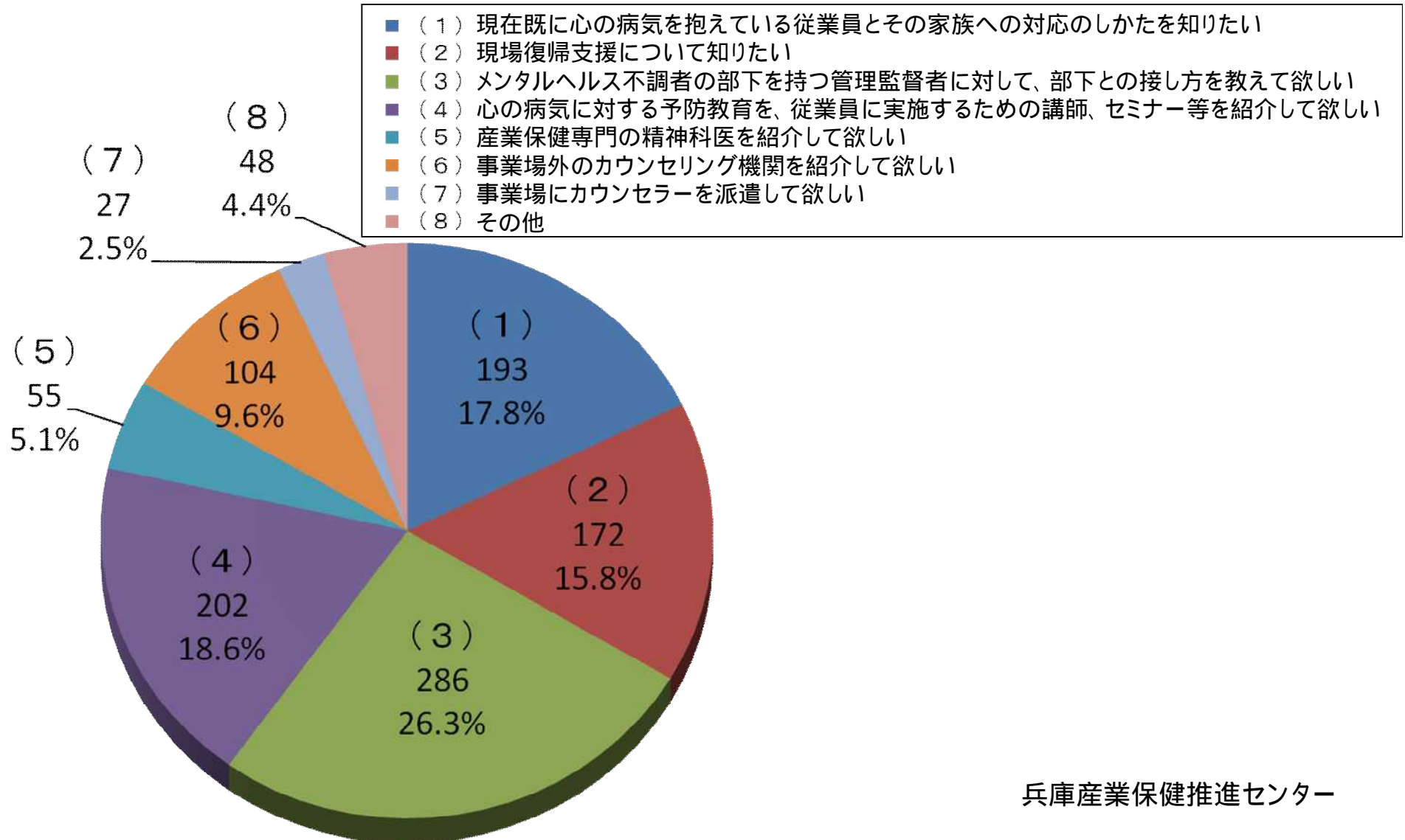
-6. 心の病の休業(入院・自宅療養)、職場復帰の すめ方はどのようにされていますか



-7. 回答者として、従業員をとりまく環境で、最近気になることはありますか(複数可)



あなた及び貴事業場では、従業員の心の健康管理をすすめる上で、どんな支援を必要としていますか(複数回答可)



まとめ

「従業員をとりまく環境で最近気になっていることはありますか」という問いに「従業員のコミュニケーションの低下」が最も多く、次に「従業員の心の健康管理をすすめる上で、どんな支援を必要としていますか」という問いに、「メンタルヘルス不調者の部下を持つ管理監督者に対して部下との接し方を教えて欲しい」が最も多かったことから、いずれも日本人が最も苦手としているコミュニケーション能力が求められていることが解りました。

今後、兵庫産業保健推進センターの支援活動の参考にさせていただきますと考えています。